ID:	=患者情報!B1				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2 殿	(ハーセプチン + XP［イメンドCap使用］) 療法				
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来		

入力日		年		月		日
開始日		年		月		日

疾患名		診療科	
クール	カペシタビン ・・・ 2週投与1週休薬（ゼローダ錠） CDDP（シスプラチン注） ・・・・・・ Day1 トラスツズマブ（ハーセプチン注）・・・ Day1	医師名	

適応基準	☑ 1st Line ☑ 2nd Line ☑ 3rd Line以降 ☐ 術前 ☐ 術後補助 ☑ 進行 ☑ 再発 ☑ HER2過剰発現が確認された症例	告知の有無		P S		同意書取得	☐ 済

身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00	m^2

重要 B型肝炎の再活性化（de novo B型肝炎）対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

☐ HBs抗原
☐ HBs抗体
☐ HBc抗体

薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位
トラスツズマブ 初回 8	☑ mg/kg ☐ mg/body	トラスツズマブ 2回目以降 6	☑ mg/kg ☐ mg/body	CDDP 80	☑ mg/m^2 ☐ mg/body	カペシタビン 1日 2,000	☑ mg/m^2 ☐ mg/body

外来化療加算 ☑ A ☐ B ☐ 対象外

※副作用等の理由にてトラスツズマブの投与予定日より1週間を超えた場合は、初回投与量の8mg/kgで投与することが望ましい。

第0日目（Chemo前日）
メイン（午後） D.I.V.
ソルデム3A(500) 1000 mL

第1日目（Chemo当日）
メイン（早朝） D.I.V.
ソルデム3A(500) 500 mL

メインルート
メイン
メイン
メイン
メイン
メイン
メイン
メイン

メイン D.I.V.
初回のみ（8mg/kg）
トラスツズマブ注【先：ハーセプチン注】 mg
注射用水（20mL） 1～2 A
生食液（250） 250 mL

2回目以降（6mg/kg）
トラスツズマブ注【先：ハーセプチン注】 mg
注射用水（20mL） 1～2 A
生食液（250） 250 mL

メイン D.I.V.
デキサート注(3.3mg) 6.6 mg
グラニセトロン点滴静注(3mg/100mL) 1 袋

メイン D.I.V.
シスプラチン（CDDP） mg
生食液(500) 300 mL

メイン D.I.V.
ソルデム3A(500) 500 mL
フロセミド注(20mg) 10 mg

メイン D.I.V.
ソルデム3A(500) 500 mL
フロセミド注(20mg) 10 mg

メイン D.I.V.
ソルデム3A(500) 500 mL

カペシタビン・・・1日の服用量［ゼローダ錠］
mg / 分 2

内服薬（制吐剤）
イメンドCap（125mg） 1Cap
※シスプラチン投与1時間～1時間30分前に服用

側管
側管（9：00） I.V.
フロセミド注(20mg) mg

※尿量2000mL以下でラシックス注10～20mg I.V.

【備考欄】
※イメンドCapの規格に注意して下さい
※イメンドCapの相互作用に注意して下さい

第2日目（Chemo翌日）
メイン D.I.V.（100mL/hr）
ソルデム3A（500） 1500 mL
※メイン終了後、ヘパロック

側管 D.I.V.（30分）
デキサート注(3.3mg) 3.3 mg
生食液(100) 100 mL
側管（朝食後） I.V.
フロセミド注(20mg) 20 mg
内服薬（制吐剤）
イメンドCap（80mg） 1Cap
※午前中に投与すること

第3日目（Chemo翌々日）
メイン D.I.V.（100mL/hr）
ソルデム3A（500） 1000 mL
※メイン終了後、ヘパロック

側管 D.I.V.（30分）
デキサート注(3.3mg) 3.3 mg
生食液(100) 100 mL
内服薬（制吐剤）
イメンドCap（80mg） 1Cap
※午前中に投与すること

	1Kur目		2Kur目		3Kur目	
Day	1 ・・・・・・・・・・・・	14 15	22 ・・・・・・・・・・・・	35 36	43 ・・・・・・・・・・・・	
カペシタビン	↓ ・・・・・・・・・	↓	↓ ・・・・・・・・・	↓	↓ ・・・・・・・・・	
CDDP	↓		↓		↓	
トラスツズマブ	↓		↓		↓	

確認者	監査者